

HALE 理事を紹介します 祝社長ご就任!

HAWAII Up-To-Date !!

②筆頭副会長 クリスティーン A. 久保田さん

日本生まれ、日本育ちの久保田さん。横浜のインターナショナルスクールからハワイに引っ越して、まず驚いたのがハワイ独特の方言とも言える「ピジョン・イングリッシュ」だったそうだ。

「きれいな英語を話すと通じないし、ほんと驚きました。でも一所懸命にピジョン英語を練習してイベントにはムームー着て、ハワイの学校に馴染もうと必死でした笑」

とご本人。その後ハワイの生活にすっかり馴染み、20代の頃には日本語と英語を話せる強みを生かし、ツアーガイドやメディア撮影のお手伝いなどをこなしていた。当時は日本人のハワイ人気盛り上がりツアー関係の景気が良かった時代。かなりの収入があったそうだ。そんなハワイ生活を楽しんでいたが、そんな仕事の延長で裁判所の通訳のお手伝いをしていた時、こんな光景をたくさん目にした。

「とにかく、日本人が裁判で負けてしまう。それは法律に無知ということもあるし、米国の裁判を知らないで臨む人も多かったこともあるでしょう。それを見て、単純にかわいそうだなあと。この人たちを助けるのはどうすればいいかと考えたら、自分が弁護士になるしかないって思いついたんです」

それが30歳の時。それから米国のロースクールに進学するが、久々の勉強にはとても苦労したそうだ。

「宿題も多いし、勉強が大変で大変で。でもある時、図書館で必死に勉強している日本人留学生を見かけたら、英語で勉強するという不利な環境の中で頑張っている日本人に比べたら、自分はまだまだだなと感じて、奮起しました」

見事に弁護士資格を取得し、1988年に現在も勤務するデーモン・キー・レオン・カプチャック・ハスタート法律事務所に入所。「この事務所に入所できたことも私の幸運の一つだった」と語り、現在は役員にあたるパートナー弁護士となり、事務所は60周年を迎えた今もハワイの法曹界で重要な位置を占めている。同業者が選ぶ米国ベスト・ロイヤーリストに、何度も選ばれた。そしてなんと今年、社長に就任することになった。同事務所60年の歴史の中で、初めての女性社長だそうだ。

「弁護士もサービス業だから、依頼者第一なのは当たり前。人様に尽くすという気持ちで仕事しています。法律をわかりやすく伝えて人助けをする。それが弁護士です」

久保田さんで驚くのが、そのコミュニティ活動の活発さ。このアロハライフ協会もその一つだが、在日米国商工会議所、ハワイ州法曹協会、広島県人会、ホノルル日本慈善法人会、ホノルル日本人商工会議所、一隅会、ハワイ日米協会、ハワイ日本文化センター、日本女性協会財団、Kizunaグループ・元年者委員会共同委員長、日系人連合協会、日米協議会など挙げればきりが無い。昨年までワイアラエ・カントリークラブの女性初の理事も務めていた。こんなコミュニティ活動も、久保田さんの信条「自分を殺しても人に尽くす」という思いの延長にあるのだ。

最近、久保田さんはスイスに出かけた。名付け親（Godfather）がスイスにいるのだそうだ（右の写真がその人）。名付け親は元駐日スイス大使の孫にあたる人だそうで、そんな話を聞くにつけ、何だかこの人の歴史はとってもグローバルだ。

坂井会長が「当協会の良心」と呼ぶ久保田さん。これからも外国で暮らす日本人の心強い味方として、“頼れる姉御”でいてくれることでしょう。



（筆者プロフィール）

編集者／当協会広報委員長

早大法卒、小学館勤務を経て2009年ハワイ移住。

ライトハウス創刊編集長を経て各種メディアを手掛ける。

